

■題材について

本題材は、表現や鑑賞の学習を通して、音楽の仕組みの一つである「反復」が生み出す、旋律やリズムが繰り返される音楽の面白さに気付いていくようにします。

鑑賞曲「トルコこうしんきょく」では、二つの旋律がそれぞれ繰り返される面白さに注目しながら音楽を聴き、曲のよさを感じ取ります。

■指導事項 「内容のまとめり」 ※本教材の関連事項のみ記載

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア、イ

[共通事項] (1) ア (本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「反復」)

【参照】 小学校学習指導要領解説音楽編 P164～165

■題材の目標(例) ※本教材の関連事項のみ記載

第1学年及び第2学年

(1) 知識

曲想と音楽の構造との関わりについて気付く。

(2) 思考力、判断力、表現力等

旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。

(3) 学びに向かう力、人間性等

旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

取り扱う教材の特徴や興味・関心をもたせたい事柄

音楽を形づくっている要素：「旋律」「反復」

■題材の評価規準(例) ※本教材の関連事項のみ記載

第1学年及び第2学年

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知 曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>音楽を形づくっている要素： 「旋律」「反復」</p>	<p>思 旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

取り扱う教材の特徴や興味・関心をもたせたい事柄

■指導と評価の計画(例) 2時間 (第2学年)

時間	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点			◆評価規準
		知・技	思	態	
第1時	<p>◎旋律やリズムの反復に興味をもち、曲想と音楽の構造との関わりについて気付く。</p> <p>○旋律の反復に気を付けて聴く。</p> <p>先生が生徒の実態に合わせて、学習活動を考えましょう</p> <p>○旋律、反復などを聴き取り、そのよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。</p> <p>I C T活用</p>	知			<p>※態は第2時まで継続的に評価する。</p> <p>◆曲想と二つの旋律の特徴やその反復との関わりについて気付いている。知 行動観察 発言内容</p>
第2時	<p>◎音楽の特徴について気付いたことを伝え合うと共に、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。</p> <p>○前時の学習で気付いたことを伝え合い、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。</p> <p>先生が生徒の実態に合わせて、学習活動を考えましょう</p>		思	態	<p>◆旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。思 行動観察 発言内容</p> <p>◆旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。態 行動観察</p>